

『神の前に富む人生』

ルカの福音書 12:13～21

序]

21節の言葉から人生には二つの道があるように思う。「自分のために蓄える人生」と「神の前に富む人生」である。

本]

I 自分のために蓄える人生の内容

彼の生き様の中に世の中で成功する秘訣が記されているのではないだろうか。

- ①「どうしよう」(17)… 問題にぶつかった時、その問題に逃げないで「どうしよう」と考える人は成功するのではないか。
- ②「こうしよう」(18)… 彼は考えただけでなく、「こうしよう」という具体策を練った。
- ③具体策を実行した(18)… 新しい倉に納めた。そして自分の生き様にほれほれしたように19節の言葉をいう。「安心して、食べて、飲んで、楽しめ。」

II 自分のために蓄える人生の結果

人生を振り返って、なぜ多くの人々が「これでよかったのか」と不安を覚えているのか？

- ①神を計算に入れない人生を送ってきたから。
金持ちは外面的には満たされていたが自分の心の貧困さには気付いていなかった。
- ②自分しか計算に入れない人生を送ってきたから。
- ③死とその先を計算に入れない生きかたを送ってこなかったから。
大切なことはどんな死に方をする以上に、死んだ後どこで目覚めるかである。我らの金持ちのように今夜魂が取り去られるとしたらどうするか。

III 神の前に富む人生

- ①神を知ること。
これまで神を計算に入れない人生を送ってきたのだから今日から神を知るように努めればいい。
- ②神の前にへりくだること。
自己中心な生きかたをやめて、神と自分の位置を弁えて、神を受け入れること。
- ③神に全信頼を寄せること。
空の鳥や野の百合をも養い育てて下さる神に信頼して生きる時、小さなことで悩まなくなる。偉大な神が我らの存在を知り、愛して下さると知った瞬間から生き方が変わってくる。金持ちのように「食べて飲んで楽しめ」式の生き方は結局「何を食べようか。何を着ようか。」という思い煩いにつきまといわれる。

結]

今朝、「本当の豊かさ」とは何かが伝わただろうか。キリストは「自分のためにではなく、神の前に富む人生を送りなさい」と語っておられる。様々な理由で今朝、心にむなしさを覚えておられる方がいるならば、思い切って人生の切り替えをすることをお勧めする。